

東法連ニュース

2025年
(令和7年)
12月号
第457号

一般社団法人 東京法人会連合会 © 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町5番6号 全法連会館3階

TEL 03-3357-0771 (代) URL: <https://www.tohoren.or.jp> Mail: info@tohoren.or.jp

税を考える週間

キッズニア東京で「TAX WEEK」を開催

子どもたちに税金を身近に感じてもらう

東法連は「税を考える週間」(11月11日～17日)に合わせ、「キッズニア」を企画・運営するKCJG R O U P株式会社と、子ども向け職業・社会体験施設「キッズニア東京」(江東区)において、「TAX WEEK 2025」を開催し、期間限定で「税務署」パビリオンをオープンした。

期間中は、「税務調査」や、「税務広報官」の仕事体験、「税金クイズ大会」や「税金クイズラリー」等を実施。多くの来場者が参加した。

また、11月12日には江島一彦国税庁長官、小宮敦史東京国税局長、斎藤保東法連会長が視察に訪れ、子どもたちが真剣な表情で税務調査や税務広報官の仕事などをする様子を見守った。

税に関する様々な仕事を体験

「税務署」パビリオンでは、子どもたちが税務職員として、消費税や税の役割などについて学んだ後、施設内の店舗に出向いて「税務調査」体験を行った。

この他、来場者に対し、税金についてのセミナーを行う「税務広報官」の仕事や、税に関するアンケート調査のアルバイトアクティビティの体験などを通じ、子どもたちに税金を身近に感じてもらう催しとなった。

税務調査の様子は、NHKはじめ日本テレビ、TBS、テレビ朝日のニュースや情報番組、また、日経読売、朝日、毎日、産経等の全国紙やWebニュースなど、多くのマス

コミに取り上げられた。
クイズを通じて楽しく
税について学ぶ

日本や世界の税金について詳しくなる「もっと知りたい!税金クイズ大会」や「税金クイズラリー」は、子どもたちがクイズ形式で税金について楽しく学べるイベント。クイズ大会参加者には法人会税金かるたが、クイズラリーの全問正解者には四谷法人会作製のオリジナル下敷きがプレゼントされた。

また、11月13日には小林滋之東法連青連協会長(杉並法人会常任理事)および山田正人同副会長(上野法人会)が解説員となり、会場を盛り上げながら税金についてわかりやすく解説した。



報道陣の中で税について
真剣に学ぶ子どもたち



税務広報官のセミナーを聴く
江島一彦国税庁長官(前列左から3人目)



税務調査を見守る
斎藤保東法連会長(右)

おめでとうございます

令和7年秋の叙勲受章者の発表があり、東法連関係では次の方が受章の榮に浴された。

【旭日小綬章】（納税表彰）



飯野 光彦氏
（副会長・北沢会長）

おめでとうございます

このほど、令和7年財務大臣・国税庁長官・東京国税局長納税表彰の受彰者が発表され、東法連関係では次の方々が受彰の榮に浴された。（法人会名簿順）

【財務大臣納税表彰】



小林 栄三氏
（顧問・麻布理事）



佐藤 一也氏
（副会長・上野会長）



秋山 勉氏
（顧問・練馬東顧問）



三橋 信介氏
（顧問・町田顧問）

【国税庁長官納税表彰】



藤井 隆太氏
（副会長・神田会長）



清水 和雄氏
（顧問・小石川顧問）



渡邊 安雄氏
（理事・杉並会長）



鈴木 久氏
（理事・荒川会長）



安江 文博氏
（顧問・西新井顧問）

【東京国税局長納税表彰】

平野 恵一氏（神田副会長）

鈴木 悦子氏（日本橋副会長）

山内 隆博氏（京橋副会長）

齋藤 明人氏（芝副会長）

早川 巖氏（浅草相談役）

橋本久美子氏（荏原副会長）

矢野口智一氏（大森副会長）

吉田 毅氏（雪谷副会長）

横山 誠二氏（税制税務副委員長・世田谷副会長）

須賀 信之氏（目黒副会長）

姫野 祐子氏（厚生共益事業委員・板橋副会長）

菊池 雄一氏（理事・練馬東会長）

酒井 克昌氏（王子副会長）

矢島 幹也氏（足立副会長）

高橋 則子氏（副会長・向島会長）

大畑 勝実氏（葛飾相談役）

中山 雄司氏（江戸川南副会長）

岡本 隆一氏（理事・江東東会長）

おめでとうございます

このほど、令和7年度東京都知事・東京都主税局長税務功労者表彰の受彰者が発表され、東法連関係では次の方々が受彰の榮に浴された。（法人会名簿順）

【東京都知事税務功労者表彰】

稲葉 秀一氏（顧問・麻布特別顧問）

清水 和雄氏（顧問・小石川顧問）

清宮 仁氏（理事・八王子会長）

【東京都主税局長税務功労者表彰】

宮入 正英氏（日本橋副会長）

岩上 義明氏（元理事・麻布理事）

筑紫 恒男氏（小石川監事）

大越 達夫氏（理事・品川会長）

醍醐 正明氏（理事・雪谷会長）

村田 宣政氏（公益事業副委員長・玉川副会長）

鳥居 憲夫氏（中野参事）

秦 壽吉氏（荻窪顧問）

大石 恭寿氏（理事・本所会長）

山本榮之進氏（理事・葛飾副会長）

山本 通陽氏（八王子監事）

飯島 康裕氏（副会長・日野会長）

志水 哲也氏（理事・町田会長）

日本橋法人会 ※団体としての表彰

「税を考える週間」協賛講演会を開催

「社会保障の在り方と税制」をテーマに

東法連では10月24日、アルカディア市ヶ谷において「税を考える週間」協賛講演会を開催し、一橋大学経済学研究所教授佐藤主光氏を講師に迎え、「社会保障の在り方と税制」をテーマに、69名が参加した。



あいさつする
高野吉太郎委員長
冒頭、高野
吉太郎東法連
税制税務委員
長（新宿法人
会会長）より



講演する
佐藤主光教授
開会挨拶の後、
インフレや金
利上昇を背景
とした社会保

障財源の課題分析や、税と社会保障料の一体改革の必要性について解説された。

講演後は活発な質疑応答も見られ、参加者からは「理解が深まった」との声が寄せられた。今後の税制改正要望をとりまとめる上でも大変有意義な機会となった。

大会宣言

中小企業の活性化には税財政上のきめ細やかな支援が不可欠

第41回法人会全国大会(高知大会)

第41回法人会全国大会・高知大会が10月16日、高知県立県民文化ホールで開催され、全国から約1600名、うち東京からは約230名の会員が参加した。

大会式典で



あいさつする
齋藤保会長
は、齋藤保全
法連会長(東
法連会長)に
よる主催者あ



あいさつする
江島一彦国税庁長
官、西森裕哉
高知県副知事
らによる来賓

あいさつがあった。

福利厚生制度推進で東法連が県連表彰を受彰

表彰式では、会員増強表彰において武蔵府中法人会が増加対前年22社で最優秀賞を受彰。優秀賞に江戸川北(5社)、努力賞に豊島(4社)と麻布(3社)、対前年1



大会式典
中央は税制改正提言の趣旨説明を行う
飯野光彦全法連副会長

また、飯野光彦全法連副会長(東法連副会長・北沢法人会会長)による「令和8年度税制改正提言」の報告が行わ

社以上の純増を3年間継続する単位会として、豊島と江戸川北の各法人会が表彰された。

研修参加率向上表彰では、税法事務の研修参加率120%以上の単位会優秀賞に麹町、練馬西、京橋、四谷、日本橋の各法人会が表彰された。福利厚生制度推進表彰では、顕著な成績を挙げた県連表彰(ビジネスガード対前年108%以上)で東法連が受彰し、単位会表彰(対前年103%以上)で新宿、江戸川北、江戸川南、江東西品川、本所、武蔵府中、向島、蒲田、青梅、豊島、町田、日野、足立、上野、芝の各法人会が受彰した。

国税局幹部との意見交換会を開催

1都3県連会長ら出席

東京国税局管内法人会連合協議会(東京・神奈川・千葉・山梨の1都3県連で組織)の代表者と東京国税局幹部による意見交換会が、10月23日全法連会館で開催された。

当日は、国税局から小宮敦史局長をはじめ、島田晋作課税第二部長、谷敏之課税第二部長、宮本竜平法人課税課長が出席した。法人会からは齋藤保東法連会長、高橋伸昌神奈川県連会長、花島恭一千葉県連会長、各県連副会長1名が出席。東法連は飯野光彦副会長、



国税局側出席者



法人会側出席者

横原耕太郎専務理事が出席した。意見交換会では、会員増強や租税教育活動への取組み、税制改正提言の実施状況について積極的な意見交換が行われた。国税局からは税務行政への協力に対する謝意と、キャッシュレス納付推進についての協力依頼があった。

れ、結びには、「中小企業の活性化には、税財政上のきめ細やかな支援が不可欠であり『税制改正提言』の実現を強く求める」と宣言した。

式典に先立ち、(株)都築経営研究所代表取締役の都築富士男氏による記念講演「変化の時代の経営、危機をチャンスに」が行われた。来年の全国大会は、10月8日、

茨城県水戸市民会館で開催される。

令和8年度税制改正スローガン

- 社会保障に充てる消費税の減税は慎重な検討が必要 将来世代にツケを回さない仕組み作りを!
- 「金利のある世界」への回帰を踏まえ、金融市場の動揺を招かない財政運営を!
- 企業への過度な社会保険料負担を抑制し、中小企業の活性化に資する税制措置を!
- 本格的な事業承継税制を確立し、地域経済と雇用の担い手の中小企業を守れ!

財政と組織の両輪で 法人会運営を支える

高橋総務委員長が会員増強と
福利厚生制度推進の協力を呼びかけ



高橋利充委員長

東法連では11月6日、各法人会の総務担当副会長および総務委員長あてに、「総務委員会における会員増強および福利厚生制度推進のご協力について」と題する依頼文を发出した。依頼は高

橋利充総務委員長(練馬西法人会会長)名によるもので、法人会の財政基盤と組織力の一体的な推進を呼びかけている。

文書では、東法連48会の経常収益のうち約2分の1が会費収入、約4分の1が助成金収入であり、この助成金の原資は福利厚生制度の事務手数料収入であると説明。本年度の助成金配賦額の増加は、福利厚生制度加入企業拡大キャンペーン「Challenge100」の成果で、各

また、高橋委員長は、会員増強と福利厚生制度の推進は法人会運営の基盤を支える取り組みと強調。従来の「会員増強は組織、福利厚生制度は厚生」とい

った委員会の縦割りの枠を越え、総務委員会ははじめ法人会全体の連携強化と、協力保険会社(大同生命・AIG損保・アフラック生命)との情報共有を求めた。さらに、次年度の事業計画や予算策定にあたり、組織と財政の両面から法人会の持続的発展を見据えた運営を呼びかけた。

税制の歴史や食品ロス削減の 取り組みを視察

東法連女連協(岡田和泉会長・武蔵野法人会常任理事)では、第3回役員会として、10月30日に埼玉県和光市の税務大学校と、食品ロス削減全国大会(主催…千代田区、全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会)の視察を行った。

税務大学校では、租税史料室特別展示「近代日本の税務行政

と関係民間団体(税を支えるパートナー)」を視察し、我が国の税制の成り立ちや、法人会をはじめとする関係民間団体の役割について説明を受けた。また、食品ロス削減全国大会では、千代田区内の取組事例や、大学・企業のパネル発表・ブース展示を視察した。

なお、これに先立ち6月に東法連事務局で



展示を視察する女連協役員



食品ロス削減全国大会の様子

は、東法連女連協の活動を推進するため、消費者庁が設けている「食品ロス削減推進サポート」に職員2名が登録した。

大同生命優績機関長特別研修会・
AIG全国代理店連合会東京大会2025
―福利厚生制度推進への協力に感謝―

10月8日、大同生命保険(株)は、「東法連チャレンジ100上期優秀機関長特別研修会」を開催した。本研修会は優績機関長同士の情報共有を目的として実施。都内約30名の機関長のうち、上期の成績上位者9名が参加した。出席した横原耕太郎東法連専務理事から、上期の福利厚生制度の推進に対して謝意が述べられ、併せて現在法人会が「チャレンジ100」の東法連の目標達成について、改めて協力依頼があった。

また、10月17日には、AIG損害保険(株)の代理店会主催の「AIG全国代理店連合会東京大会2025」が開催され、全国から約千五百の代理店・AIG役員が参加した。本大会は法人会の福利厚生制度の推進をはじめ、代理店間での情報共有や意見交換を行う大規模な会合。出席した横原専務理事からは、法人会活動の財政基盤を支える福利厚生制度の推進に尽力しているプロ代理店の方々に感謝の意と、制度の拡充と会員増強への協力依頼が述べられた。